

皆さま、こんにちは。

12月に入り、ミシガンでは先月の季節外れの雪はすっかり溶けました。今は、日によって雪が降ったり降らなかったり、梅雨入り始めの東京を思い出させるような天気が続いています。

10月のハロウィンに続き、11月のサンクスギビング、12月のクリスマス（ハヌカ）、1月のニューイヤーと、アメリカの年中行事が続きます。

11月下旬から12月上旬の一週間は、Thanksgiving（感謝祭）という行事がありました。

起源は最初のイギリスからの大陸移住者が、アメリカの先住民から、食料を分け与えられ、大自然の暮らしのノウハウを教わり、翌年1621年にはその友情と収穫に感謝してお返しをした、という史実に基づくそうです。

毎年11月の第4木曜日が祝日となり、その一週間は学校や会社はなく、帰省して伝統的なご馳走を囲み、家族と過ごすことが一般的のため、日本のお正月と近いと言われます。

ホストグランマの家に家族が集まり、七面鳥のローストを囲み、ゲームをして家族と過ごしました。

ホストマザーには5人の姉弟・6人のいとこがおり、Thanksgivingを含めたこれまでの3ヶ月間でその全員と会う機会がありました。



BandのChristmas Concert

マーチングのシーズンは終わり、marching band(マーチングバンド)の授業は、メンバーはそのままでband(吹奏楽)になりました。管弦楽、合唱、吹奏楽のクラスはそれぞれ別日にChristmas Concertでの発表がありました。

パートは録音テストの出来で振り分けられ、ありがたいことに、全5曲の1stの椅子と、そのうち1曲でソロパート、2曲でデュエットパートを任せて頂きました。

約30人のトランペットのメンバーと一緒に同じ基準で評価され、更にもっと選んで頂いたことは嬉しかったです。同時に、ソロや1stを吹きたいと意気込んでいた他のトランペットのメンバーに、何となく申し訳なさを感じていました。

ですがメンバーが本当に温かく、パートが決まった時に私のソロを私よりも喜んでくれて、練習中の一番の原動力になったと思っています。夜遅くまで、家での練習を許可してくれたホストマザーにも感謝しています。

冬はアメフトに代わりバスケットボールのシーズンです。今季も試合のハーフタイムでの演奏があり、その為の別曲も練習中です。



Thanksgiving での、たくさんのアメリカ伝統料理/家族とのゲーム

英語の授業では、スタインバック作“Of Mice and Men”（和訳版は「二十日ネズミと人間」）を読みました。世界中でベストセラーとなったこの小説は、アメリカの英語の授業では定番らしく、ホストマザーや英語の先生も学生時代に授業で読んだと言っていました。文中には古いスラングや言い回し・独特の訛りが多いのですが、私は和訳版を渡米前に読んでいたので、思っていたよりスムーズに読み進めることができました。

各章ごとにある読解問題に答え、感想を書き足し、レポートを作成しながら、二週間で一気に読み切ります。様々な観点からの設問に加え、二週間という期間が設けられていたので、計画的に読みレポートを書くことができたと思います。

また読み終わった後は、映画版を鑑賞したり、ディスカッションをしたりして理解を深めました。映画版は原本と違う描写が多く、長く議論がされているようですが、私個人としては物語の本質は変わっていないと感じました。

今学期の英語の授業で一番大きな課題であった最終エッセイは、テーマを何回か変更したり最初から書き直したりと苦戦しましたが、納得いくものができて満足しています。私は、登場人物がみんな、人間関係を気にするあまり互いに牽制し合い、結局それぞれが孤独を感じている、という矛盾について書きました。

他の授業でも様々な課題が出ますが、宿題とテストの頻度・比率をはじめ、各教科の全体像がわかるようになりました。授業の課題で毎日精一杯だった状態が、余裕を持って取り組めるようになってきました。冬休みの後にはクラス変更があるのが寂しいですが、同時に新しい出会いがあると思うとワクワクします。

9月から続いていた学校生活も、冬休みに入って少しお休みです。当初は常に気を張って生活していましたが、今は良い意味でリラックス出来ていると思います。最近になって、初対面の人にはここに住んでいるのか、と聞かれることが増えました。そう思った理由を聞くと、現地生と同じくらい友達が居て、課外活動が留学生の割に多いからだそうです。

私の滞在する Sturgis という地域はアジア人がかなり珍しく、日本について興味を持ってくれた友人が多かったおかげだと思います。課外活動の演劇や校内ボランティア、教会などは、確かにしてもしなくても良い活動なのですが、これからもチャンスがあれば、多くの現地の方々に関わって、様々な経験を一緒にして、見て聞いて感動していきたいと思います。今後も頑張ります。